

学校図書館の運営・活用方法を調べる

(2021.9)

<本文中の記号について>

【 】：請求記号

< >：資料のある場所

《読支-7》

学校図書館は、学校図書館法の規定により全ての学校に設置しなければならないとされています。また、新しい学習指導要領の総則においても、その計画的な利用・機能の活用を図ること等が示されています。そこで、学校図書館について理解し、取組を知るための資料をご紹介します。

※ 高等学校での取組に係わる内容の資料を中心に紹介しています。

1. 調べるためのキーワード

図書館の所蔵検索や各種データベースを検索する際に利用するキーワードの例です。

《キーワード》 学校図書館 学校司書 司書教諭 探究学習 など

2. 図書を使って調べる

○分類記号(背ラベル)

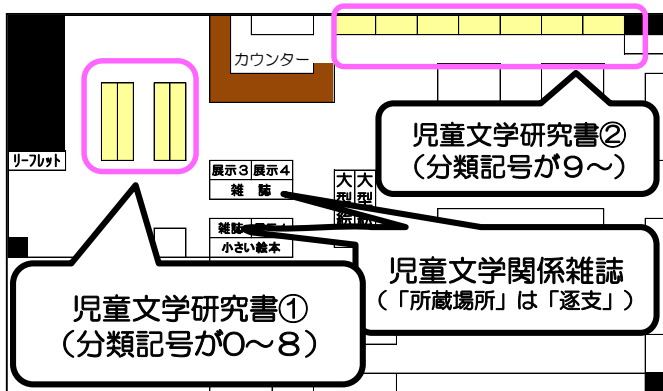
学校図書館や総合的な学習・探究の時間に関する図書の多くは、B1階読書活動支援室「児童文学研究書」(資料検索時の「所蔵場所」は「児研」)の書架にあります。紹介している図書の一部は、「公2」(2階公開資料室)、「公4」(4階公開資料室)、「青少」(4階ティーンズコーナー)の書架にあります。

なお、図書館の本は「日本十進分類法(NDC)」で分類された数字の順に並んでいます。

《関連分野の分類記号》 背ラベルの1段目の数字です。

017	学校図書館
028	選定・参考図書目録
028.09	児童・青少年向け図書目録
375	教育課程、学習指導、教科別教育
375.1	学習指導、学習指導要領

【資料がある場所】(B1階 読書活動支援室)



図書館同士で本の貸し借りを
するネットワークがあります。
取り寄せ可能な場合は、1～2週間程度で
ご用意できます。



○ 学校図書館の運営・業務

・『司書教諭・学校司書のための学校図書館必携』

(全国学校図書館協議会／監修, 発行 2021)【017/196/021】
<児研>

初任者や運営に携わる教職員の指針となるよう、学校図書館の理念や機能、業務内容等が一冊にまとめられている。

・『「学校図書館ガイドライン」活用ハンドブック』

解説編(堀川照代／編著 悠光堂 2018)【017/218/1】<児研>と実践編(堀川照代／編著 悠光堂 2019)【017/218/2】<児研>の2冊からなる。

解説編は、2016年11月文部科学省の「学校図書館の整備充実について(通知)」に添付されている「学校図書館ガイドライン」の解説書である。また、実践編は、学校図書館の運営に係わる事項についてのQ&Aや、小学校～高等学校・特別支援学校における学校図書館の活用事例を掲載している。

○ 総合的な学習・探究の時間

・『思考を深める探究学習』(桑田てるみ／著 全国学校図書館協議会 2016)【375/351】<児研>

・『情報活用型プロジェクト学習ガイドブック』(稲垣忠／編著 明治図書出版 2020)【375.1/184】<児研>

これらの2冊は、探究学習における情報の収集・編集・発信といった活動のプロセスについての解説、各活動で使えるワークシートの様式を掲載している。

・『総合的な学習 探究の時間』(小玉敏也／編著, 金馬国晴／編著, 岩本泰／編著 学文社 2020)【375/360】<児研>

SDGs(持続可能な開発目標)及びその目標達成の担い手を育成するESD(持続可能な開発のための教育)の考え方に基づいた学習活動の解説及び実践事例が紹介されている。

・『「探究」の学びを推進する高校授業改革』(高見京子／著, 稲井達也／著 学事出版 2019)【375.1/176】<公2>

単に学校図書館にある資料を使うだけでなく、ブックトークや図書委員会、読書会等、様々な活動を生徒の学びに繋げる工夫をしている高等学校の事例が紹介されている。

○ レファレンスサービス・情報探索

学校図書館は、学習・情報センターとしての機能を期待されています。様々なテーマに対応するためには、図書やインターネット情報源を揃えるだけでなく、それらを使いこなすスキルも求められます。

- ・『問題解決のためのレファレンスサービス』
(長澤雅男／共著, 石黒祐子／共著 日本図書館協会 2007)【015.2/5/007】〈公4〉
- ・『資料検索入門』(市古みどり／編著, 上岡真紀子／著, 保坂睦／著 慶應義塾大学出版会 2014)【002.7/14】〈公4〉
- ・『探究的な学習を支える情報活用スキル』(塩谷京子／著 全国学校図書館協議会 2014)【017/179/10】〈児研〉
- ・『学校図書館で役立つレファレンス・テクニック』
(齊藤誠一／著 少年写真新聞社 2018)【017/217】〈児研〉

○ 選書

過去に出版された本を購入する際の参考になります。

- ・『学校図書館の司書が選ぶ小中高生におすすめの本300』(東京・学校図書館スタンラリー実行委員会／編 ペリかん社 2017)【028.09/50】〈青少〉
- ・『もっとある！学校図書館の司書が選ぶ小中高生におすすめの本220』(東京・学校図書館スタンラリー実行委員会／編 ペリかん社 2020)【028.09/58】〈青少〉
- ・『ヤングアダルトの本』(日外アソシエーツ株式会社発行)〈児研〉

2008年から刊行されている中高生を中心とするヤングアダルト世代を対象とした図書の書誌事項と内容が収録されている目録のシリーズ。それぞれのテーマは次のとおり。

- ・中高生の悩みに答える5000冊
- ・社会との関わりを考える5000冊
- ・読んでみたい物語5000冊
- ・職業・仕事への理解を深める4000冊
- ・教科書の名作3000冊
- ・部活をきわめる3000冊
- ・高校教科書の文学3000冊
- ・書籍になったweb小説・ケータイ小説3000冊
- ・ボランティア・国際協力への理解を深める2000冊
- ・ノベライズ化作品3000冊ーアニメ・ゲーム・ドラマ
- ・「18歳からの選挙権」2000冊
- ・いま読みたい小説4000冊
- ・悩みや不安迷ったときに読む4000冊
- ・社会を読み解く4000冊
- ・将来の仕事・資格に出会う3000冊
- ・高校国語入試に出た3000冊
- ・SDGs〈持続可能な開発目標〉を理解するための3000冊

○ 館内のレイアウト・ディスプレイ

「行きたい！」と思われる空間作りの参考になります。

- ・『学校図書館改造プロジェクト』(井上一郎／編著 明治図書出版 2013)【017.2/12】〈児研〉
- ・『平湯モデル図書館写真集』(平湯文夫／著 ボイックス 2019)【017/221】〈児研〉
- ・『学校図書館ひらめきアイデアノート』(竹内純子／著 少年写真新聞社 2019)【017.2/16】〈児研〉

○ ビブリオバトル

面白いと思った本を持ち寄り、一定時間内で発表・質疑を行い、読みたいと思った本「チャンプ本」を決めるビブリオバトル。年齢問わず、全国各地に広がっています。

- ・『ビブリオバトル入門』(ビブリオバトル普及委員会／編著, 吉野英知, 須藤秀紹, 大谷裕, 谷口忠大／監修 情報科学技術協会 2013)【019.9/297】〈公4〉
- ・『ビブリオバトルハンドブック』(ビブリオバトル普及委員会／編著 子どもの未来社 2015)【019.9/318】〈公4〉
- ・『ビブリオバトル実践集』(須藤秀紹／編, 粕谷亮美／編 子どもの未来社 2016)【375.8/322】〈児研〉

3. インターネットで調べる

- ・子ども読書の情報館(文部科学省)
<https://www.kodomodokusyo.go.jp/>
- ・全国学校図書館協議会
(公益社団法人全国学校図書館協議会)
<https://www.j-sla.or.jp/>
- ・先生のための授業に役立つ学校図書館活用データベース(東京学芸大学学校図書館運営専門委員会)
<http://www.u-gakugei.ac.jp/~schoolib/htdocs/>
- ・知的書評合戦ビブリオバトル公式サイト
(ビブリオバトル普及委員会)
<https://www.bibliobattle.jp/>

○●読書活動支援室●○ (地下1階)

読書ボランティアや学校教職員等、子どもの読書活動関係者を支援するための部屋です。児童文学の研究書や、参考図書等を排架しています。また、子どもの読書や児童文学に関する調査相談に応じています。お問い合わせは下記までどうぞ！



栃木県立図書館 調査相談課
レファレンスサービス担当

火-金 9:00-19:00 土日祝 9:00-17:00
〒320-0027 栃木県宇都宮市埴田1-3-23
URL : <http://www.lib.pref.tochigi.lg.jp>
TEL : 028-622-5112 FAX : 028-624-7855
E-Mail : chousaka@lib.pref.tochigi.lg.jp